



主要な農作物の生育情報

平成27年度 第6号

(平成27年9月4日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

県内各地の出穂期は、各品種とも平年に比べて早まりました（平年比2日から8日早）。

病虫害防除所の調査では、穂いもちの発生量が平年より少なく、紋枯病とイネツトムシの発生量が平年より多くなっています。

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が早まったものの8月中旬以降の日照不足の影響で登熟が緩慢となり、成熟期は平年並になる見込みです（表1）。

表1 水稲主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

| 場 所 | 品 種 | 田植日 (月日) | 出穂期 | | | 成熟期の 平年値 (月日) |
|-------------------|-------|-------------|------------|------------|------------|---------------------|
| | | | 本年 (月日) | 平年 (月日) | 平年差 (日) | |
| 本 部 (郡山) | コシヒカリ | 5.01 | 8.03 | 8.08 | -5 | 9.21 |
| | ひとめぼれ | 5.01 | 7.25 | 8.02 | -8 | 9.09 |
| | コシヒカリ | 5.15 | 8.09 | 8.12 | -3 | 9.24 |
| | ひとめぼれ | 5.15 | 7.30 | 8.04 | -5 | 9.14 |
| 会津地域研究所 (会津坂下) | コシヒカリ | 5.20 | 8.05 | 8.07 | -2 | 9.19 |
| | ひとめぼれ | 5.20 | 7.31 | 8.02 | -2 | 9.11 |
| 浜地域研究所 (相馬) | コシヒカリ | 5.10 | 8.06 | 8.10 | -4 | 9.25 |
| | ひとめぼれ | 5.10 | 7.29 | 8.02 | -4 | 9.11 |

農業総合センター作柄解析試験。（浜地域の平年は前4カ年の平均値を示す。）

2 大豆

生育量は、草丈が平年並から長く、主茎節数が平年より多くなっています。

病虫害防除所の調査では、紫斑病と吸実性カメムシ類の発生量が平年並、フタスジヒメハムシとウコンノメイガの発生量が平年より少なくなっています。

●農業総合センター作況試験の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野菜】

1 夏秋きゅうり

7月定植の遅まき作型の生育は、初期生育期の高湿乾燥により草勢が低下しましたが、8月中旬の降雨により草勢が回復しました。しかし、その後の低温、寡照の影響により果実の肥大に時間を要し、また果形の乱れが生じている状況です。現在、ほ場では摘心を控えながら、新葉に太陽光を当てる目的で誘引作業が行われています。

2 夏秋トマト

中通り地方の生育は、8月上旬の高湿の影響により萎れや花落ちが発生しましたが、概ね平年並に生育しました。現在は8月下旬からの低温、寡照の影響により収穫までに時間を要し、ほ場によっては、果形の乱れが生じている状況ですが、草勢は維持されています。

3 サヤインゲン

7月播種の遅まき作型の生育は、7月下旬から8月上旬にかけての高湿の影響により花落ちが発生したため収量が低下したほ場が見られました。現在は、8月中旬からの降雨や気温低下により生育が回復し、花芽がついているほ場が多くみられます。

4 夏秋ピーマン

中通り地方の生育は7月中旬から8月上旬の高湿の影響により生育の停滞が見られましたが、その後の降雨により生育は回復しました。現在は8月下旬の低温、寡照の影響により果実の肥大に時間を要しているほ場が見られますが、草勢は維持されています。

【果 樹】（9月2日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

果樹研究所における「川中島白桃」の収穫盛りは8月16日で平年より12日早く、果実は385gで平年より大きく、糖度は13.3%で平年より高い状況でした。

また、「ゆうぞら」の収穫盛りは8月21日で平年より15日早く、果実は346gで平年より大きく、糖度は12.9%で平年より高い状況でした。

2 なし

果樹研究所における9月1日現在の「豊水」の果実肥大（暦日比較）は、縦径、横径ともに平年並となっています。

3 りんご

果樹研究所における9月1日現在の「ふじ」の果実肥大（暦日比較）は、縦径、横径ともに平年並となっています。

【花 き】

1 キク類

9月咲きは、3～4日生育が早まっており8月末から一部品種で出荷が開始されています。草丈は平年よりやや短いですが、出荷は80cm級が中心となっています。

2 シュッコンカスミソウ

会津地方の新植の出荷が、中盤を迎えています。高温により開花が5日程度前進していることから、70cm級中心の出荷となっています。

3 トルコギキョウ

9～10月咲きは、平年より5日程度生育が早まっています。高温で開花が早まっていることから、70cm級中心の出荷となっています。

4 リンドウ

南会津地方の中晩生種の開花は3日程度早まっています。現在の出荷量は8月下旬の低温により少なくなっていますが、天候が回復すれば秋彼岸の需要期には平年並となる見込みです。草丈は平年より短いですが、出荷は80cm級が中心となっています。なお、高温による花卉の退色が一部で見られます。

葉枯病の発生が見られますが、防除の徹底により上位葉まで広がっているほ場は一部に留まっています。

【飼料作物】

牧草は、2番草の収穫が終わり、現在3番草の生育期となっています。地域によっては、8月中旬からの寡照により草丈が短い牧草地が見られます。

飼料用とうもろこしの生育は良好で、平年並の収量が予想されます。早生種では8月下旬から収穫期を迎えています。降雨により収穫が遅れている地域があります。

稲WC Sは、8月中旬からの降雨、寡照により収穫が例年に比べ若干遅れる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>